

2023年度事業報告に関する件

特定非営利活動法人子ども環境活動支援協会が2023年度に実施した事業結果を以下のとおり報告します。

1. 事業実績

(1) 概要

2023年度は、コロナ禍も明け、国際事業に関しては4年ぶりの来日研修を含むJICA廃棄物研修の実施やソロモン諸島への渡航など少しずつ平常に戻ってきたことを実感する1年となりました。西宮市が「環境学習都市宣言」を行って20年目を迎え、記念事業として行われた10年に一度の大規模「市民自然調査」では、1万件を超える報告がありました。公募型プロポーザルにより2023年度より受託したEWC事業や環境学習サポートセンター、甲子園浜自然環境センターの管理運営業務なども各事業担当においても様々な創意工夫を行い、事業目標は概ね達成できました。また、5期目となった甲山自然環境センター事業も指定管理者として継続することができました。

中期目標の視点での事業活動は概ね達成できたと考えております。

(2) 特定非営利事業に関する事業報告

事業実施内容の詳細については、別添の「2023年度LEAF事業報告書」(本書以外の事業報告附属書類はありません)に記載しています。

2. 組織体制・財政の確立に関する事項

(1) 組織体制について

① 就業規則に基づく労務環境の執行

業務契約を結んだ社会保険労務士と逐次相談を行い法律改正などに適宜対応しました。

<対応事項>

- ・労働基準監督署への就業規則改訂版の提出
- ・36協定の順守(労働時間に関する労使協定(延長できる労働時間の限度 1年間 360時間))
- ・有給休暇取得
 - >一般職員、契約職員等職員に係る取得義務日数は履行
 - >パート職員も勤続年数に応じた日数を付与
- ・パート職員最低時給単価の改善 最低時給:1001円

② 事務局運営体制

安定した職員雇用のため、プロポーザル提案事業における予算交涉及び事業全体での創意工夫や業務改善を行い基本業務の確保に努めました。

<事務局職員の構成>

- ・一般職員(継続雇用)……7名(20歳代2名・40歳代1名・50歳代4名)
- ・契約職員(単年契約)……2名(20歳代1名・30歳代1名)
- *JICA草の根事業によりソロモン諸島で雇用
- ・パート職員(短時間契約)……26名

③ 職員の各種スキル向上に向けた研修の実施

業務に応じて、草刈り機等の研修を実施しました。

④ 情報誌「りいふ」の発行

「りいふ」編集のための人員の確保が難しく、発行することができませんでした。

(2) 財政基盤の確立について

財政に関しては、受託事業等の単価の見直しを行い、持続可能な経営を見越すことができました。また、超過

勤務の抑制、管理費削減などにより、黒字決算となりました。

3. 会員の現況(2024年3月31日現在)

■正会員(個人会員:91名、団体会員:41団体)

以 上

*参考

<中期目標>

- (1)西宮市の自然特性を生かした「体験的学び」を学校園などを対象に幅広く展開します
- (2)都市型里地里山を軸とした地域循環型活動モデルを創出します
- (3)各主体とともに社会課題解決や新たな価値創造に向けた取り組みを進めます
- (4)環境学習都市・西宮における各種実践を通じた国際協力を進めます
- (5)事業実施において様々な主体や団体、世代をつなぐ役割を重視します